

新庁舎建設事業に係る設計内容報告及び意見交換会
日 時：平成 29 年 4 月 25 日 19：00～20：30
場 所：口永良部島へき地保健福祉館
参加者： 住民 19 人
内 容
<p>住民) 非常に素晴らしい新庁舎だと思います。 まあ未来を見据えた、いいものができるんだなというふうに思っています。 その中で、多分吟味はされたと思いますが、これだけ広い屋根を持つ建物で電力関係をどうするのかなと。太陽光パネル等を屋根の上に乗せて、役場内の電力はそれで賄うというようなそういう意見等は今までなかったのかな。私が考える中で、もしかしたら空港のそばということで、その光等の影響が飛行機にあるから、やらなかったのかそういったところを少し教えてください。</p> <p>町) 太陽光パネルもですね屋久島の方で高校生のワークショップをやってですね、高校生のほうからもそういった意見もあってですね、提案はいろいろしたんですけど、どうしても屋久島は雨が多くて、天井部分まあ屋根部分にああいった細工をすることはですね、やはりそういったゆくゆくメンテナンスがいろいろかかってくるという問題点が 1 点と、もう一つが林業振興の関連でですね、木質バイオマス、木を焚いて電気を発電するってのが今あるんですよ、そういったものもいろいろ検討したんですけど、どうしてもランニングコストであったりとか、初期投資のお金がかかってしまって、逆にそれで赤字になってしまう。10 年間のサイクルで 2 千万くらいの赤字になったんですね。それはちょっとできないということで、最終的にはもともと水力発電の島ですので自然エネルギーは十分生かしているということでの判断でちょっとこう太陽光パネルは断念したところです。</p> <p>住民) はいわかりました。</p> <p>町) ありがとうございます。他に何かご意見等ございますか。</p> <p>住民) 冒頭の方で説明のあった庁舎がですね、今分散されているというところで、とりあえずその今、分散されている庁舎がまあずいぶん空いてくることにはなるかとは思いますが、その活用法についてほかの集落でどういった意見が挙がっているのかとかそのあたりちょっとお聞かせ願いたいなと思います。</p> <p>町) ありがとうございます。 いま栗生校区、八幡校区、神山校区をやってきたところなんですが、栗生校区で出た意見が、なかなか今高齢者の老人ホーム的なものがないと。で、尾之間の庁舎につきましては 4 階建てエレベーターが付いておりますので、そういうものに活用できないかとかですね。あとは地元の神山校区区長の意見といたしましては、図書室が今中央公民館の 1 階、手狭な所にあります。そういう図書室を広いところに移していただけないか。あと、平内のほうに民具倉庫というものがあって、ちょっと隠れたところに押し込んでいる状況なんですけど、やっぱり皆さんから集めた民具ですのでやっぱり公開する場所として使</p>

っていただけないとかですね。あとはJAさんとか郵便局さんとか、役場の窓口も3つ一緒に入ればそこに行けばみんな用事すむよと、じゃあ一緒にしてよというような意見ですね。まあそういうご意見もありました。どうしてもエレベーターが付いているということで、高齢者の憩いの場所に使いたいとかいうご意見もあります。町といたしましては、方向性は今から検討するんですが、まずそういうご意見を出していただきながら、また行政の持っている我々の持っている所管する部分、社会教育課であれば図書室ですね、そういうのもありますので、そういう意見の取りまとめをしながら、またお聞きをして検討し最終的な方向性を出していきたいと思いますが、あまりにも大きい尾之間の庁舎特に4階建てと大きいところもあって、小さく区切ってしまうと個人的な事務所、貸事務所みたいな形で貸せる、貸すことによって、町としても収入になりますし、維持管理経費が安くなるというところもありますので、そういうところのご意見もいただきながら町としてもなるべくそのやっぱり造るとなれば経費を減らしたいと、今までの経費がそのままかかっているのであれば新庁舎の意味がないというところも大きく言えばありますので、そういうところも含めて、皆様方のご意見を聞きながら決定をしていくということです。

住民) ありがとうございます。

あのですね、なぜこの点を聞いたかというところですね、島、口永良部島にとってですね、屋久島の建物に関してなかなかちょっとよくわからないというところがあります。まあとにかくその屋久島にあるものをどう活かしていくかっていうやはりその周辺に住んでいらっしゃる方々の意見がしっかり反映されていていいものになっていくということが口永良部島にとってもいいだろうとやっぱり考えますので、まあ今そういう話の中でそれぞれその活用策というのが出ているってことでまあ少し安心しました。ありがとうございます。

町) ありがとうございます。特に先ほど室長申し上げましたけど神山校区、尾之間を中心とした神山校区については区長方も話し合いをしたりとかして、いろいろ今回先ほどいったような提言がありました。そういったのを今からですね建設までに向けて我々の方も取り組んでいきたいと思っています。広く意見を募集してですね、検討しながらやっていきたいと思っています。

他にいかがでしょうか。

住民) 3年前でしたかね、ワークショップをここでしたのは。その時も多分意見として出したか出してないかちょっとはっきり覚えていないですが。あのですね、宇宙船にロケットとかに塗る塗料が今「松栄塗装さん」が扱って「ガイナ」っていうんですけど、これは本当にもう鉄板に塗ったら下から火を焚いても全然触れるというようなそういうですね、すごい特殊な塗料があるんですよ。まあ、あまり屋久島まだそこまで普及はしてないと思うんですけど、サムズさんもそれを塗ったら全然中の暑さが違うとで、その冷房とか暖房とかね、そういう電気代が浮いたりとかそういったその効果がすごくあるということで、松栄塗装さんが松栄さんがですね JAXA の方からの契約で屋久島の代理店という形でやって、まあ今その営業みたいな形なってますが、今の話し方は。実際ですね、すごくいいと、まあそりゃ私単価とか知らないですけどけども、そんだけいいものですからある程度の金額はすると思いますけど、その表面のコーティングとかですね、またその断熱、また冬場はあったかい、夏場は涼しいという

ようなそういう効果があるということで、また中におられる人たちも快適に過ごすことが出来ますし、今冷房の温度も下げるとか、上げるとかですね、クールビズとかですね、いろんなそういう活動されると思うんですが、そういったところでまあその最初の段階で、そういうなものを塗ってですね、しっかりちゃんと守っていくと、でまたみんなにもいいというようなちょっとそこもですねもう1回役場の方で調べられてみるなり、話を聞かれてみるなりされたらまあすごくいいのではないかなというふうに思っています。すごく涼しいらしいです。以上です。

町) ありがとうございます。参考意見として、また屋久島に帰ってから確認はしてみたいと思います。

住民) ちょっと内容違うんですけど、あの図を見て県道からすぐ入って感じですけど、ちょっと不安になったのが、あそこちょっとまっすぐしてますよね、道路が下りですよ。あそこを車でこう出るときに結構スピードを出した方がずいぶんいるってことで、樹木が防風林ですぐ立ってたりして、あそこでは入口ちょっとなかなか大変なのかなと、何かその道路に信号機をつけるとか、なんかそういう考えがあります。

町) 今、意見があったことなんですけど、(図を使って説明)こちらが農道になっています。これ県道ですね。おっしゃるようにここが一番高くなってまして、ちょっとお互い谷になっています。まあ我々も最初ここを見たときに非常にやっぱり車のことが一番心配で、事故を起こしちゃいけないので。ここに信号設置の案もですね、屋久島警察署と検討したんですけど、なかなか信号機を取り付けるってことはすごく難しい、条件がいろいろありまして。もう1つが空港の滑走路が延長するという話がありましてその関連の話で、ゆくゆくこの県道がですね、これ空港の滑走路なんですけどこういうふうに斜めに入ってくるんですね。滑走路が。この影響で県道がこちらに寄っていきます。でこの道もですね空港斜線の関係でですね、ちょっと下がるんですよ。これが今よりももう少しちょっと緩やかな、坂にはなるんですけど、乗り入れ道路を少しこちらにずらすことで、これがメインの乗り入れになるので、まあいくらかそういった今の危険については回避できるだろうということで、屋久島警察署とも協議する中で、信号機はまあ今回はごめんなさいって言われました。

住民) じゃあ将来的にはとりあえずそういう形で・・・

町) そうですね。もう少し道が下がってくる。当面は今のままの道で取付けなんですけど、ゆくゆくは全体がこう県道自体高さが下がってくる計画になっています。

住民) まあでも周辺の樹木で出入りがこう車からこうくりだしてってなんかイメージで、で向こうがちょっと一番高いところでこうきますからねえ。

町) このイメージのここの部分の樹木はですね、なくなります。

住民 B) ああそうなんですね。

町) 最初はこれ、設計側はですね、やっぱりできるだけ屋久島の自然を残したいということがあって、こういった最初のイラストだったんですね。イメージ図だったんですね。けどここはかなり危険ですからもうなくしてもらっています。ここは見通しが良くなります。ここはやはり防風林が必要なのでこれは残るんですけど、やっぱり交通事故を起こしたら一番いけないことから、そういった対応をする計画です。

進行) ほかいかがでしょうか。

住民) 交通の便、今現在の役場だったらまあ歩いて港から行けるんですけど、この小瀬田になった場合交通の便はどのように考えておられますか。

町) 本庁に行かれる場合は、どうしてもバスとか公共交通機関を使っていただかないといけないというふうになるかと思うんですが、ただ宮之浦支所、総合窓口的なものが必ず残ります。手続き的には宮之浦でも可能なんですけども、役場に来られる際は乗り合わせていただくか、公共交通機関を使っていただきたいと思っています。

住民) 当座は宮之浦がまだ使えるってことですか。

町) 支所出張所については継続する、規模は縮小しますが継続することを決定しておりますので、もう庁舎が出来たらもう宮之浦はないよというようなことはないです。宮之浦には必ず総合窓口的な事務所は、今の場所をそのまま使うのか、ちょっと外れた電気庁舎あたりを使うのかというのがありますが、機能としては残します。

住民) わかりました。

町) ほかのみなさんいかがでしょうか。

もし、ないようでしたら今日の方は一旦。今後は先ほどから申してますように、特に宮之浦、安房、尾之間この3支所の職員がここに集約することで、その支所のスペースも空きますので、その利活用について、話をしていきたいと思います。庁舎建設の方はまあ工事の方でやってもらって、ソフト面なこととして支所の利活用、あるいはその庁舎ができた後の役場の組織のあり方、支所を含めたですね。住民に不便をきたさないような機構を考えないって思っていますので、また口永良部島の住民の方々にも、さまざまないろんな視点からのご意見を頂ければと思っております。またそういう機会も作っていこうと我々は思っていますのでよろしくお願いいたします。

町) では予定の時刻になりましたので、

今回は急きょお願いをした日程でございまして我々も心配をしていたのですが、多くの方々に集まっていただきまして、いいご意見を聞かせていただきました。また先ほど申しましたとおり、支所出張所のあり方、庁舎の使い方というのはまたその都度ご意見をお伺いする機会があろうかと思っております。また、

庁舎の方も屋久島に行かれた場合は、空港辺りで造成していますので、建築も5月くらいから建物も建ってきます。みなさんも屋久島の杉というものを見ていただいて、またそれを広めていただければと思います。

本日はどうもありがとうございました。

終了